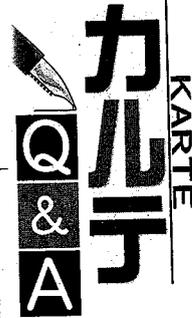


両手がしびれて困っています。特に朝のこわばりがひどく、むくんでいるようにも思います。力が入らず、たまに痛いときもあります。仕事で重い荷物を持ち、肩凝りもひどいです。このまま手が動かなくなったらと思うと、不安です。(50歳、女性)

手のしびれ



中林幹治医師

50歳という年齢や性別、症状からみて、まず更年期障害によるものではないかと考えます。手指がむくむくことでも手根管症候

(母指)から薬指(環指)の母指側までの3本半を支配する正中神経の領域で、手首のところにある手根管を通過している正中神経が圧迫されている状態です。症状が長く続くと、母指基部の膨らみ(母指球)に筋萎縮が生じて、指先で物をつまめなかつたり、OKサインをつくる

能になります。他の病気と区別するための鑑別診断としては、手指関節炎を考慮して関節リウマチや、肩凝りもひどいようです。頸椎疾患、糖尿病などの末梢神経障害を除外する必要があります。

下手術を行うか、メスを使う手根管開放術をお勧めします。整形外科専門医にご相談ください。
 (兵庫県医師会、中林幹治神戸市灘区、中林整形外科クリニック院長)
 ◇第1、3、4日曜に掲載します。

手根管症候群の併発疑って

群を併発しているのでしょうか。手根管症候群は更年期の女性や妊婦に起こりやすく、女性ホルモンと関係しています。手のしびれ以外にのぼせ、発汗、動悸など多様な更年期障害がある方は、婦人科でのホルモン補充療法を推奨します。

しびれと痛みの範囲は親指(関連痛)が出現し、診断が可能

のが困難になったりする巧緻運動障害が生じます。診断には誘発筋電図検査を用いて正中神経の伝導速度を計測します。容易かつ早期に発見できて経過観察にも有用です。他には手関節を手のひら側に圧迫する方法があり、指先に放散痛

は、早期に内視鏡を用いて鏡視